

wncomr. cfgデータ構造詳細(v0.00.05) <20090103p配布ver>

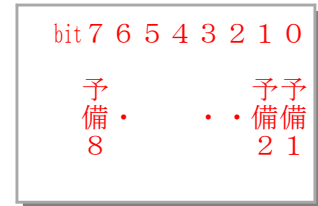
v0.00.04と同等

先頭からのオフセット	内容
+0 ~ +8	WNCヘッダ
+9, +a	NCSヘッダサイズ(def40) us[*1]
+b	解答位置(先頭からのオフセット) uc[*2]
+c	問題数 uc[*2]
+d	解答番号(終了時に選択していた解答集番)
+e	予備使用フラグ(予備1~予備8)
+f	予約(未使用)
+10, +11	固有設定開始位置 us[*1]
+12 ~ +2f	予約(未使用)
+30	学年: 先頭からのオフセット uc[*2]
+31	学年: 規模(バイト数) uc[*2]
+32	科: 先頭からのオフセット uc[*2]
+33	科: 規模(バイト数) uc[*2]
+34	組: 先頭からのオフセット uc[*2]
+35	組: 規模(バイト数) uc[*2]
+36	番: 先頭からのオフセット uc[*2]
+37	番: 規模(バイト数) uc[*2]
+38	氏名: 先頭からのオフセット uc[*2]
+39	氏名: 規模(バイト数) uc[*2]
+3a	性別: 先頭からのオフセット uc[*2]
+3b	性別: 規模(バイト数) uc[*2]
+3c ~ +3f	予約(未使用) uc[*2]
+40	予備1: 先頭からのオフセット uc[*2]
+41	予備1: 規模(バイト数) uc[*2]
:	: 予備2~予備7 uc[*2]
:	:
+4e	予備8: 先頭からのオフセット uc[*2]
+4f	予備8: 規模(バイト数) uc[*2]
+50 ~ +63	予約(未使用)

+0 +8
'WNCOMR000'
16bit値

ビットごとに対応

16bit値

[*1] unsigned short
[*2] unsigned char

解答集に関する詳細(v0.00.04)

+100(10進数)~	解答集1の解答(100バイト分使用)
+200(10進数)~	解答集2の解答(100バイト分使用)
:	:
+900(10進数)~	解答集9の解答(100バイト分使用)
+1000(10進数)~	TPL情報(v0.00.01で追加)※下記参照
+1100(10進数)~	解答集1の配点(100バイト分使用)
:	:
+1900(10進数)~	解答集9の配点(100バイト分使用)
+2000(10進数)~	TPL情報(v0.00.01で追加)※下記参照
+2100(10進数)~	解答集1のコメント(40バイト分使用)
:	:
+2900(10進数)~	解答集9のコメント(40バイト分使用)
+3000(10進数)~	予約(未使用)
+3100(10進数)~	解答集1の連鎖データ(100バイト分使用)
:	:
+3900(10進数)~	解答集9の連鎖データ(100バイト分使用)
+4000(10進数)~	予約(未使用)
+4100(10進数)~	解答集1の配点十の位(100byte分使用)
:	:
+4900(10進数)~	解答集9の配点十の位(100byte分使用)
+5000(10進数)~	予約(未使用)
+8190(10進数)	

アスキーコードで格納
余る時は残りに¥0Shift JISで格納
余る時は残りに¥0v0.00.04追加
余る時は残りに¥0
v0.00.04追加

TPL情報に関する詳細(v0.00.01)

+1000(10進数)～+1015	(TPLエディタ名とバージョン番号)	ASCIIZで+1015には必ず¥0
+1016(10進数)～+1031	(TPLエディタの作成元)	ASCIIZで+1031には必ず¥0
+1032(10進数)～+1063	(TPLファイル作成者)	ASCIIZで+1063には必ず¥0
+1064(10進数)～+1095	(TPLファイル作成会社)	ASCIIZで+1095には必ず¥0
+2000(10進数)～+2047	(TPLファイルのコメント)	ASCIIZで+2047には必ず¥0
+2048(10進数)～+2063	(日時データ)	アスキーコード 'YYYYMMDDHHmmSS' ¥0¥0

*TPLエディタ名とバージョン番号および作成元はASCII文字コード推奨

*TPLファイル作成者・作成会社・コメントはShiftJIS(Unicode非対応)